



令和3年8月25日

東京都千代田区四番町5番地3  
科学技術振興機構（JST）  
Tel：03-5214-8404（広報課）  
URL <https://www.jst.go.jp>

## 「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」 2021年度第1回公募における交流計画の採択について

JST（理事長 濱口 道成）は、「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」の公募事業において、2021年度第1回公募により採択する交流計画を決定しました（別紙1）。

さくらサイエンスプログラムは、2014年の開始以降、アジアを中心とする国・地域から、これまでに3万3千人を超える青少年を招へいしてきました。2021年度からは対象を原則としてアフリカ、欧州、大洋州などを含むすべての国・地域に拡大し、自然科学分野に加えて人文・社会科学分野の交流も対象としました。また、オンラインによる交流を支援する「さくらオンラインプログラム」の公募を新たに開始しました。

2021年度第1回公募では、2021年5月17日（月）から6月30日（水）までの期間に、さくら招へいプログラムには9件、さくらオンラインプログラムには16件の申請があり、別紙1のとおり採択を決定しました。交流計画の国・地域別、機関別の内訳はそれぞれ別紙2、別紙3のとおりです。

新型コロナウイルス感染拡大への対応として、さくら招へいプログラムにおける交流計画の実施については、日本、送出し国、受入れ機関、送出し機関の出入国・行動制限などに関わる方針・規制などに適合しているかを受入れ機関が確認し、JSTが合意することとしています。

「さくらサイエンスプログラム」のホームページには、関連情報や過去の活動報告も掲載しています。

URL <https://ssp.jst.go.jp/>

### <添付資料>

- 別紙1：2021年度第1回公募採択結果 交流計画一覧
- 別紙2：2021年度第1回公募採択結果 国・地域／コース／属性別人数
- 別紙3：2021年度第1回公募採択結果 機関別 採択件数
- 参 考：「国際青少年サイエンス交流事業」概要

### <お問い合わせ先>

科学技術振興機構 経営企画部 さくらサイエンスプログラム推進本部  
〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3  
石黒 傑（イシグロ スグル）  
Tel：03-5214-8997 Fax：03-5214-8445  
E-mail：[ssp.press@jst.go.jp](mailto:ssp.press@jst.go.jp)

## 2021年度第1回公募採択結果 交流計画一覧

別紙1

## 【さくら招へいプログラム】

No.	コース	受入れ機関名	送出国・地域名	送出国機関名・属性別人数	交流計画のテーマ
1	A.科学技術体験	朝日大学	南アフリカ共和国：11人	[ウェスタンケープ大学] 大学生：10人、教員：1人	人工知能AIがもたらす最先端医療技術の紹介と公衆衛生領域への応用
2	A.科学技術体験	桜美林大学	スリランカ：9人 台湾：8人	[コタラーワラ防衛大学] 大学生：8人、教員：1人 [長榮大学] 大学生：7人、教員：1人	日本の公共交通システムマネジメントと鉄道網を中心とした都市開発と国際展開
3	A.科学技術体験	大阪府立大学	タイ：11人	[バンヤーンピアット経営学院] 大学生：10人、教員：1人	ものづくり技術から学ぶイノベーション人材の養成
4	A.科学技術体験	岡山県立大学	ドイツ：11人	[ハノーバー応用科学芸術大学] 大学生：7人、教員：1人、研究者：3人	Industrie 4.0 と Society 5.0を学ぶための日独ワークショップ
5	B.共同研究活動	金沢大学	インドネシア：10人	[アンダラス大学] 大学生：5人、大学院生：4人、教員：1人	インドネシアの農村地帯での希少野生動物を象徴種とした生物共生農業の構築に向けた国際共同研究
6	C.科学技術研修	福岡大学	オーストラリア：8人 インドネシア：15人	[カーティン大学] 高校生：2人、大学生：4人、教員：2人 [州立イスラム大学マラン校] 大学生：3人、教員：2人 [ラジャアリハジ海事大学] 大学生：3人、教員：2人 [スラバヤ工科大学] 大学生：3人、教員：2人	環境適合型ごみ処理・材料開発先端技術研修
7	A.科学技術体験	山形大学	中国：1人 インドネシア：1人 ベトナム：1人	[延辺大学] 大学生：1人 [ガジャマダ大学] 大学生：1人 [ベトナム国立農業大学] 大学生：1人	「誰一人取り残さない」精神文化と科学
8	A.科学技術体験	和歌山県立医科大学	韓国：10人	[ソウル大学校] 大学院生：7人、ポスドク：1人、教員：2人	日韓・タンパク質の動的機構解明・教育プログラム
9	B.共同研究活動	産業技術総合研究所	モンゴル：5人	[モンゴル地質調査所] 研究者：5人	モンゴルと日本における地質情報・資源・地質試料分析技術に関する共同研究の展開

合計9件 受入れ機関：9機関（11カ国・地域）

2021年度第1回公募 交流計画一覧

【さくらオンラインプログラム】

No.	実施機関名	参加国・地域名	参加機関名・属性別人数	交流計画のテーマ
1	秋田大学	マレーシア：17人	[マレーシア日本国際工科院] 大学生：10人、大学院生：5人、教員：2人	航空機電動化の最先端と雪国秋田を実感できる交流プログラム
2	大阪工業大学	バングラデシュ：15人	[バングラデシュ繊維大学] 大学生：7人、大学院生：5人、教員：3人	異分野交流を基軸とした新素材イノベーションプログラム
3	金沢大学	エストニア：3人 ノルウェー：6人 ラトビア：3人 ロシア：6人 カザフスタン：8人 キルギス：3人 タジキスタン：3人 ウズベキスタン：3人	[ノルウェー科学技術大学] 大学生：3人 [国立イルクーツク大学] 大学生：3人 [国立アルタイ大学] 大学生：3人 [ベルゲン大学] 大学生：3人 [エストニアアントレプレナーシップ応用科学大学] 大学生：3人 [ラトビア大学] 大学生：3人 [カザフスタンユネスコ人間と生物圏国内委員会] 高校生：3人、大学生：3人、大学院生：2人 [キルギス国立大学] 大学生：3人 [タジキスタン科学アカデミー動物学・寄生虫学研究所] 研究者：1人 [タジク国立大学] 大学生：2人 [ウズベキスタン科学アカデミー動物学研究所] 研究者：1人 [ウズベキスタン国立大学] 大学生：2人	ユネスコエコパークにおける日本とユーラシアの持続可能な開発目標の達成に向けた多様な人材育成オンラインプログラム
4	九州工業大学	マレーシア：10人 台湾：10人	[マレーシアプトラ大学] 大学院生：10人 [国立台湾師範大学] 大学生：10人	サステイナビリティ・アクションに関するトランスローカル・ピアラーニング：日本、台湾、およびマレーシアのオンライン連携
5	九州大学	バングラデシュ：1人 ブータン：2人 インド：1人 インドネシア：5人 マレーシア：2人 ネパール：2人 フィリピン：4人 ベトナム：7人	[バングラデシュ研究教育ネットワーク] 研究者：1人 [ジグミ・ドルジ・ワンチュク国立病院] その他：1人 [ケサルギアルポ医科大学] その他：1人 [ジャワハルラール医学教育研究大学院] その他：1人 [ドクタームワルディ病院] その他：1人 [ディポネゴロ大学] その他：1人 [ブラウイジャヤ大学] その他：1人 [スリウィジャヤ大学] その他：1人 [北スマトラ大学] その他：1人 [マレーシア国民大学] その他：1人 [マラヤ大学医療センター] その他：1人 [パタン健康科学アカデミー] その他：1人 [トリブバン大学] その他：1人 [先端科学技術研究所] 研究者：2人 [マカティ・メディカル・センター] その他：2人 [ベトナム国立科学技術情報庁] 研究者：2人 [ホーチミン市大学医療センター] その他：1人 [ヴェトドック大学病院] その他：1人 [ベトナム国立眼科研究所] その他：1人 [ニンビン総合病院] その他：1人 [108陸軍中央病院] その他：1人	COVID-19感染拡大に伴うアジアでの医療施設における遠隔会議実装の技術支援に関する状況把握と課題解決

No.	実施機関名	参加国・地域名	参加機関名・属性別人数	交流計画のテーマ
6	佐賀大学	中国：18人	[武漢大学] 大学院生：15人、教員：3人	武漢大学との電力機器に関するオンライン交流
7	静岡大学	中国：30人	[合肥工業大学] 大学院生：30人	核融合炉におけるプラズマ壁相互作用とトリチウム
8	昭和女子大学	ブータン：20人	[ブータン王立大学ジグメナムゲル工科大学] 大学生：10人 [ブータン王立大学シェルブツェカレッジ] 大学生：10人	社会を変える力：グローバルPBLを通じた地域課題解決
9	広島大学	インド：12人	[インド工科大学ボンベイ校] 大学生：6人 [バーラ技術科学大学ピラニ校] 大学生：6人	日印の科学技術とその応用を学ぶ短期研修プログラム2021
10	山形大学	ペルー：22人	[ラモリナ農業大学] 大学生：10人、教員：1人 [カトリカ大学] 大学生：10人、教員：1人	東北・中部・近畿地方のドローンを用いた森林状態評価技術
11	山形大学	中国：11人	[南京大学] 大学生：3人、大学院生：7人、教員：1人	世界トップの有機・高分子材料研究拠点での研究交流
12	早稲田大学	フィリピン：13人	[モンティンルバカレッジ] 大学生：10人、教員：2人、その他：1人	サイエンスと人間科学との統合によるWell-beingをめざした技術活用
13	早稲田大学	タイ：15人	[パンヤーピアット経営学院] 大学生：10人、教員：2人、その他：3人	社会における多様性に対する科学技術によるイノベーション
14	早稲田大学	中国：14人	[杭州師範大学] 大学生：10人、大学院生：2人、教員：2人	先進ICT技術を用いたグローバルヘルス課題の解決と根拠に基づく政策形成
15	早稲田大学	カザフスタン：12人	[カザフアブライハン国際関係外国語大学] 大学生：10人、教員：2人	地方創生を支えるICTと人間科学
16	鈴鹿工業高等専門学校	フィンランド：23人	[トゥルク応用科学大学] 大学生：20人、教員：1人、その他：2人	先端マテリアル分野におけるオンライン工学ワークショップ

合計16件 実施機関：12機関（21カ国・地域）

# 2021年度第1回公募採択結果 国・地域／コース／属性別人数

別紙2

【さくら招へいプログラム】

(単位：人)

国・地域		コース・属性	コース			招へい者属性					合計	
			A. 科学技術体験	B. 共同研究活動	C. 科学技術研修	高校生	大学生	大学院生	ポスドク	教員		研究者
東南アジア	インドネシア共和国		1	10	15		15	4		7		26
	タイ王国		11				10			1		11
	ベトナム社会主義共和国		1				1					1
南西アジア	スリランカ民主社会主義共和国		9				8			1		9
東アジア	大韓民国		10					7	1	2		10
	台湾		8				7			1		8
	中華人民共和国		1				1					1
	モンゴル国			5							5	5
アフリカ	南アフリカ共和国		11				10			1		11
欧州	ドイツ連邦共和国		11				7			1	3	11
大洋州	オーストラリア連邦				8	2	4			2		8
合計			63	15	23	2	63	11	1	16	8	101

## 2021年度第1回公募採択結果 国・地域／属性別人数

### 【さくらオンラインプログラム】

(単位：人)

国・地域	属性	参加者属性						合計	
		高校生	大学生	大学院生	ポスドク	教員	研究者		その他
中央アジア	ウズベキスタン共和国		2				1	3	
	カザフスタン共和国	3	13	2		2		20	
	キルギス共和国		3					3	
	タジキスタン共和国		2				1	3	
東南アジア	インドネシア共和国							5	
	タイ王国		10			2		3	
	フィリピン共和国		10			2	2	3	
	ベトナム社会主義共和国						2	5	
	マレーシア		10	15		2		2	
南西アジア	インド共和国		12					1	
	ネパール連邦民主共和国							2	
	バングラデシュ人民共和国		7	5		3	1		
	ブータン王国		20					2	
東アジア	台湾		10						
	中華人民共和国		13	54		6			
中南米	ペルー共和国		20			2			
欧州	エストニア共和国		3						
	ノルウェー王国		6						
	フィンランド共和国		20			1		2	
	ラトビア共和国		3						
	ロシア連邦		6						
合 計		3	170	76		20	7	25	301

## 2021年度第1回公募採択結果 機関別 採択件数

別紙3

【さくら招へいプログラム】

(単位：件)

大学

No.	受入れ機関名	採択数
1	金沢大学	1
2	山形大学	1
3	大阪府立大学	1
4	岡山県立大学	1
5	和歌山県立医科大学	1
6	朝日大学	1
7	桜美林大学	1
8	福岡大学	1
	計	8

法人

No.	受入れ機関名	採択数
1	産業技術総合研究所	1
	計	1

採択機関数：9機関

採択件数：9件

## 2021年度第1回公募採択結果 機関別 採択件数

【さくらオンラインプログラム】

(単位：件)

### 大学

No.	受入れ機関名	採択数
1	秋田大学	1
2	金沢大学	1
3	九州工業大学	1
4	九州大学	1
5	佐賀大学	1
6	静岡大学	1
7	広島大学	1
8	山形大学	2
9	大阪工業大学	1
10	昭和女子大学	1
11	早稲田大学	4
	計	15

### 高専

No.	受入れ機関名	採択数
1	鈴鹿工業高等専門学校	1
	計	1

採択機関数：12機関

採択件数：16件



## 「国際青少年サイエンス交流事業」概要

令和3年8月25日現在

### 1. 事業の目的

「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」は、JSTが、産学官の緊密な連携により、海外の国・地域の優秀な青少年に日本の先端的な科学技術に触れる機会を提供すること（科学技術交流）を通して、

- (1) 科学技術イノベーションに貢献しうる優秀な人材の養成・確保および継続的交流
- (2) 日本の教育研究機関のグローバル化
- (3) 日本と海外の国・地域との友好関係の強化

に貢献し、ひいては、日本および世界の科学技術・イノベーションの発展に寄与することを目的とするものです。

### 2. 一般公募プログラム

#### 【さくら招へいプログラム】

交流計画の目的や内容に応じて、科学技術体験コース（Aコース）、共同研究活動コース（Bコース）、科学技術研修コース（Cコース）から選択します。招へい前・後にオンライン交流を付加した実施を推奨します。招へいの実施が困難に至った際は、オンラインによってその代替とすることを採択の要件とします。

#### (1) 科学技術体験コース（Aコース）

日本の先端的な科学技術に触れる機会と日本の研究者・学生などとの交流体験を通して、科学技術分野における継続的な交流を促進するものです。

- ・滞在期間：原則として上限7日間となります。
- ・招へい人数（引率者を含まず）：単一機関から招へいする場合は、10人を限度とし、複数の機関から招へいする場合は15人を限度（ただし、1機関からの招へいが10人を超えないこと）とします。

#### (2) 共同研究活動コース（Bコース）

国際共同研究のテーマ若しくは計画の策定、予備的な実験などの共同研究を開始する活動、あるいは具体的な共同研究に参加させる活動を対象とします。

- ・滞在期間：原則として上限3週間となります。
- ・招へい人数（引率者を含まず）：原則として10人を限度とします。

#### (3) 科学技術研修コース（Cコース）

送出し国・地域のニーズあるいは地球規模課題の解決に資する科学技術に関する具体的な技術・能力の習得機会を提供する活動を対象とします。

- ・滞在期間：原則として上限10日間となります。
- ・招へい人数（引率者を含まず）：原則として25人を限度とします（複数の国・地域から招へいする場合）。

※なお、1つの国・地域から招へいする場合の招へい人数は15人、1つの国・地域かつ1機関からの招へいの場合の招へい人数は10人を限度とします。

### 【さくらオンラインプログラム】

オンラインだからこそできるシリーズ的・継続的に実施する交流。日本の実施機関と海外の参加機関によるオンライン交流を計5日以上実施します。

## 3. 対象とする国・地域

原則としてすべての国・地域を対象とします。

## 4. 対象とする分野・テーマ

以下のいずれかに該当するものを対象とします。

- (1) 自然科学分野の交流
- (2) 経済社会の諸課題を理解するための取り組みや生活の向上などをテーマとする人文・社会科学分野の交流

## 5. 招へい者・参加者の要件

対象は、高校生、大学生、大学院生、ポストドクター、教員などです。招へいの場合には原則として日本に初めて滞在することになる40歳以下の方が対象となり、オンライン交流の場合には来日経験は問いません。

## 6. その他

さくらサイエンスプログラムについては、ウェブサイトやFacebook、YouTubeを通じて最新情報を発信しています。また、ウェブサイトに掲載の「活動レポート」については、過去に採択した交流計画に関し、受入れ機関や招へい国、招へい者所属機関の属性（大学・高校・高専など）、コース名を入力することで簡単に報告を検索できます。ぜひご覧ください。

- ・ウェブサイト：<https://ssp.jst.go.jp>
- ・Facebook：<https://www.facebook.com/sspjapan>
- ・YouTube：[https://www.youtube.com/channel/UCTpHtASQ7JzM2Vh683D\\_uPQ/featured](https://www.youtube.com/channel/UCTpHtASQ7JzM2Vh683D_uPQ/featured)

以上